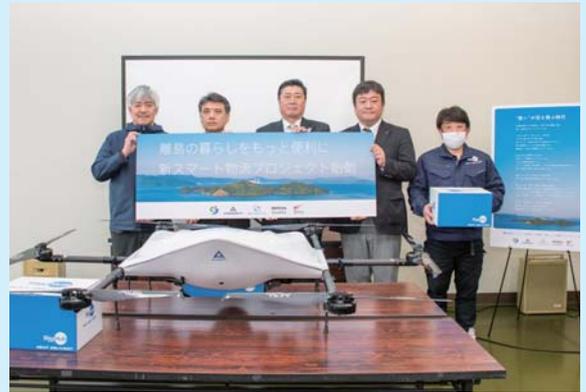


# 新スマート物流の配送拠点となる「ドローンデポ」開所 /

人口減少や人手不足による地域の物流網の維持が課題となる中、松浦市では、ドローンを活用した「新スマート物流」の構築を目指し、取り組んでいます。

これから先、5年後、10年後の将来を見据え、物流網の維持や買い物支援、災害時の物資輸送など、地域のさまざまな課題解決のために取り組みを進めています。



## これまでの経緯

2023年 11月	ドローン配送の実証実験（鷹島 - 黒島）
2024年 2月	ドローンを含む次世代高度技術の活用による地方創生に向けた連携協定を締結（松浦市、セイノーホールディングス株式会社、株式会社エアロネクスト、KDDI スマートドローン株式会社、株式会社電通九州）
2024年 4月～	新スマート物流プロジェクト事業（無人航空機等を活用したラストワンマイル配送事業）を活用した共同配送モデル構築開始 →松浦市新スマート物流プロジェクト受託コンソーシアムへ業務を委託（物流業者への実態調査や、取組実施地域へのニーズ調査、事業概要説明、各種実証実験など）

2月12日、新スマート物流の拠点「ドローンデポ 松浦市鷹島」を開所しました。

デポ開所により、鷹島島内での「買い物代行」からサービスを開始しています。

これから、地域の実情にあわせたサービスの検討を重ねながら、フードデリバリーや共同配送などに加え、災害の際の支援物資の配送や、行政業務との連携など、住民の皆さまが必要とするドローン活用事業の構築を多岐にわたり検討、実施していきます。



また、本市の新スマート物流は、遠く離れた場所においても市内に住む親や家族に、日用品や食料品を配送注文でき、荷物を送り届けることで見守り、安否確認にもつながる「親孝行プロジェクト」としても推進していきます。